



Eiche

Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内
TEL.047-461-9111 FAX 047-461-7010

特別史料展「ドイツ兵の見た NARASHINO 習志野捕虜収容所 1915-1920」開催される



Dr. ケストナー大使 (中央)



レセプション会場にて 左から4人目西郷氏、右から3人目歌田氏

習志野市教育委員会と(財)日独協会の主催、NHK 千葉放送局、ドイツー日本研究所、当日独協会等協賛による上記の特別史料展は、快晴の1月15日(土)、京成津田沼駅前の「ザ・クレストホテル津田沼」に於いて始まった。この催しは第一次世界大戦における中国・青島のドイツ兵とオーストリア水兵捕虜の大正8年(1919)12月25日解放80周年に当り、当日午前10時から同ホテル1階ロビーでオープニングセレモニーが開かれ、荒木勇習志野市長の挨拶に続き、Dr. ウーベ・ケストナー駐日ドイツ連邦共和国大使が式辞を述べ、開催関係者約100名が参列した。式典後、4階から1階までの廊下、階段の壁に、ほとんど知られていない第一次大戦中の日独関係史の一端を回顧する展示写真120余点を参加者がそれぞれの思いを胸に巡覧した。中でも収容所生活での捕虜の文化活動やスポーツ競技、収容所長西郷寅太郎陸軍大佐(西郷隆盛の嫡子、ドイツ陸軍士官学校終了)、捕虜の最高指揮官ワルデック総督などの写真は注目を浴びていた。11時半から3階のレセプション会場、「桜南の間」に於いて本史料展開催功労者表彰式が行われ、多数の史料提供者(ドイツー日本研究所公認)のボーフム市在郵趣家ヴィルグー・イエーキッシュ氏、またドイツ兵士の作ったボトルシップ提供者の当協会理事歌田實氏(習志野市在)に対し、松盛弘習志野市教育長から感謝状が贈呈された。次いで下記の収容所当事者の遺族が紹介された。

【西郷吉太郎氏】西郷寅太郎所長の孫にあたり、現ネットワークシステムズ九州事業所長。

【ヘルムート・ケテル氏】収容所解放後の残留水兵で銀座のレストラン「ケテル」創業者ヘルム・ケテル(同名)の孫で現店主。

【西山ふさ子さん】元ミュンヘン大学美術史研究者で1913年来日、青島で従軍、捕虜となり残留者となったDr.カール・フォン・ヴェークマンの姪。同氏は、後に旧制松山高校、陸軍大学校、日本医大、戦後の成蹊大学でドイツ語教育と日本歴史の海外への紹介に貢献した。又、氏はOAG会長として1950年代には、在日ドイツ人の長老だった人。

更に本席では収容所における病没者30名の墓守を進んで受任した故石崎申之陸軍大佐の長男、当協会理事石崎満医学博士、また史料展の資料翻訳協力者の同副会長宗宮好和千葉大学助教授等の功労が紹介された。引続き正午よりレセプションに移り、ドイツ兵顕彰会代表友野伸善氏(同会員)の挨拶、乾杯の音頭でビュッフエー歓談後、帯包文雄習志野市議会議長、ドイツ連邦共和国大使館カール・A・ケーラー文化部長、(財)日独協会園田和朗会長、及びOAGドイツ東洋文化研究協会H・メンクハウス副会長等来賓挨拶があり、13時半閉会した。

催物案内

■美の扉 ノルトライン・ウエストファーレン
州立美術館展(ゴッホ/ピカソ/マチス他名画多数)

期間: 3月25日(土)~6月4日(日)。(月、火は休館日)

場所: 川村記念美術館 (043) 498-2131

(JR及び京成 佐倉駅より無料バスあり)

入場料: 1,200円(但し、本紙の提示で800円に割引)

■寅さん博物館・矢切りの渡しを訪ねて

日時: 4月16日(日) 10:45AM

集合場所: 京成 柴又駅改札口

会費: 2,000円(当協会坂本理事邸にて飲食代他含む。但し、電車代は各自負担)

申込み: 同封の葉書にて 先着20名。

■定例総会

日時: 5月27日(土) 15:30~18:45

場所: 千葉そごう10階「桃源」

式次第: 15:30~16:10 総会

16:15~16:50 講演会

17:00~18:45 懇親会

総会・講演会は無料、

懇親会参加費は5,500円。

ドイツ語講習会船橋教室

2000年4月~9月コース

主催: (財)日独協会 協賛: 千葉県日独協会

1. クラス(各クラス共 定員15名)

FS-1クラス(ドイツ語初級会話1) 講師:
René Grino Finder 先生(ゲーテ・インスティ
トゥート講師) テキスト: Themen neu 2
(Lektion 5より)

FS-2クラス(ドイツ語初級会話2) 講師:
René Grino Findor 先生(ゲーテ・インスティ
トゥート講師) テキスト: Themen neu 2
(Lektion 8より)

2. 授業時間: 4月15日より9月下旬までの
毎週土曜日(120分×20回)(途中、10分間
の休憩あり)

FS-1クラス: 10:00~12:10

FS-2クラス: 13:30~15:40

3. 会場: 武藤会計事務所会議室(〒273-0005
船橋市本町4-11-17)、(0474) 23-7419

4. 受講料: 50,000円

5. テキスト代

FS-1クラス: 2,800円

FS-2クラス: 2,800円

6. 申込締切: 4月10日(月)。尚、申込締切
後も、定員に余裕があれば随時受け付けます
ので、ご関心のある方は(財)日独協会まで
お問い合わせ下さい。(03) 3265-3411

Dr. クランパース、Dr. レーケン夫妻の帰国

平成11年度のドイツ語講習会船橋教室(当協会協賛の初級会
話1、2で毎週土曜日開講)の講師・Dr. ジョン・クランパース
(慶應大学講師)、同夫人のドイツ学術交流会(DAAD)東京事
務所次長 Dr. シルヴィア・レーケンは、昨年7月出生の男子ヤン・
太郎ちゃんを伴い2月27日帰独した。昨年5月、当協会1999
年度総会の記念講演者だったレーケン女史は滞日2年半で、4
月より DAAD 本部(ボン)の新重要ポストに栄転との事。これ
に先立ち2月16日夕、東京・赤坂のドイツ文化会館に於いて、
DAAD 東京事務所長 Dr. リンス氏主催による夫妻の歓送会が開
かれ、独文学界や日独文化交流の関係者多数が招かれ、当協会
から加藤吉昭会長、理事のドイツ語学文学振興会理事長・慶應
大学教授平尾浩三氏、理事・花井清氏等が出席した。なお当協
会有志は先にヤン・太郎ちゃん出産を祝し博多人形の「金太郎」
を贈った所、夫妻より下記の礼状(礼状)が寄せられた。

(要約) 記 Tokyo.28. 11. 1999

敬愛する千葉県日独協会の皆さま

思いがけなくも大変立派な贈り物を有り難うございました。博
多人形「金太郎」は我が家を飾り、またヤン・太郎にとり生涯
の宝物となるでしょう。きっと冠と鯉を持った雄々しい金太郎
は、帰国後も彼が生まれてベビー時代を過ごした国、日本との
特別な関係に思いを馳せることでしょう。私たちは息子に日本
の太郎の童話を話してあげようと思います。そして、成人した
ヤン・太郎が日独間の友好に寄与することを楽しみにしていま
す。重ねて、日本の素晴らしいプレゼントに心から御礼申し上げ
ます。 敬具

(署名) ジョン・クランパース & シルヴィア・レーケン



左より花井理事、加藤会長、ドイツ大使館 Dr. ユンカー公使、ヤン・太郎
ちゃんを抱く Dr. レーケン、Dr. クランパース、Dr. リンス所長、近藤貴
子さん(会員)

新入会員氏名 (敬称略)

上条 系子 (船橋市)	唐沢 満子 (埼玉県加須市)
松江 美代子 (松戸市)	尾田 幸男 (千葉市)
小西 紀子 (市川市)	谷田部 茂樹 (我孫子市)
近藤 貴子 (東京都世田谷区)	館野 鷹二郎 (八千代市)
友野 信善 (習志野市)	小泉 幸一 (千葉市)

新入会員募集中

ご希望の方は表記事務局、平田事務局長までご連絡ください。